

ESG通信

第7回

ESG投資は変調の兆しがあるのか

2022年、ロシアのウクライナ侵攻などを背景としたエネルギー不足を受けて、世界各国・地域では化石燃料の需要が高まりました。このことで、ESG投資に逆風が吹いていると感じる方も多いのではないのでしょうか。

しかし、世界では、猛暑や豪雨などの異常気象が起きており、要因とされる地球温暖化は世界が抱える大きな課題です。この課題の解決に配慮するESG投資は「**不変的な**」取り組みといえるでしょう。

2022年に起こった世界の異常気象

6月 バングラデシュやインドで
洪水被害



7月 東京都心、9日連続「猛暑日」

東京都心では、9日連続で最高気温35度以上の猛暑日となり、統計史上最長を記録。

7月 欧州で記録的熱波

英国やフランスで40度～42度、ポルトガルで47度に達するなど、欧州各地で記録的な暑さが続く。

8月 イングランドに干ばつ宣言

7月の降水量が1935年以降、最も少なく、河川の水位が低下。



2022年の世界と日本のESGの取り組み

5月 G7※気候・エネルギー・
環境大臣会合開催

※ 主要7カ国

2035年までに電力部門の大部分を脱炭素化することを目標とし、排出削減対策が講じられていない石炭火力発電を段階的に廃止することを合意。 など

世界

共同行動として、気候変動、エネルギー及び環境の課題をともに解決することが確認されました。

6月 「新しい資本主義」の
実行計画を決定

GX（グリーントランスフォーメーション）の施策のなかで、脱炭素への投資額として2030年単年で約17兆円、今後10年で約150兆円とする。 など

日本

成長戦略の1つに「カーボンニュートラルの実現」を掲げ、目標実現への取り組みの計画が決定されました。

上記は「2022年に起こった世界の異常気象」と「2022年の世界と日本のESGの取り組み」の一例であり、全てを網羅しているものではありません。

出所：首相官邸（<https://www.kantei.go.jp/>）、経済産業省（<https://www.meti.go.jp/>）、各種報道等を基に野村アセットマネジメント作成

* 後述＜当資料について＞を必ずご覧ください。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2022年8月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

<当資料について>

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会